

いのひるば

Vol. 237
2019.3.25

- 1面 眼科医師による花粉症対策
- 2面 花粉症対策～薬剤科より～
- 3面 地域医療連携
「いさか脳神経クリニック」
- 4面 高槻病院の救急センター

眼科医師が解説！

花粉症対策について

花粉症とは

花粉症は、スギなどの花粉によって起こるアレルギー疾患の一つです。患者数は年々増加傾向で、国民のおよそ25%が花粉症にかかっていると推測されています。風邪と間違われやすいですが、風邪なら1週間程度で治り、花粉症は花粉の飛散期間が続き、水っぽい鼻水が流れるなどの違いがあります。

花粉症の原因

鼻腔や目の粘膜に花粉が付着し、それを異物として排除しようとする免疫反応によって、鼻水、鼻づまり、くしゃみや目のかゆみなどの症状が起こります。空気中を浮遊しているスギ・ヒノキ・イネなどの花粉(アレルゲン)が鼻粘膜に付着すると、体内に抗体が作られ、マスト細胞とくっつきます。

花粉症の予防と治療

花粉症対策の第一歩は、まず花粉を寄せ付けない



ことです。症状を最小限に抑える工夫が最も大事で、ひどくなつてからは改善に相当の苦勞を要するからです。花粉対策用マスクをつけることで花粉の侵入を70%以上カットすることができるといわれています。鼻をしつかり覆うなどマスクを正しくつけることが大切です。マスクは風邪の予防になるうえ、湿潤するので口呼吸する方や喉の弱い方にも有効です。目には花粉症用めがねが売られています。服もすべすべした素材がよく、帰宅時には衣服から花粉をよく払いましょう。うがい、手洗い、可能な限り洗顔も。洗濯物も取り入れ時にははたきように。

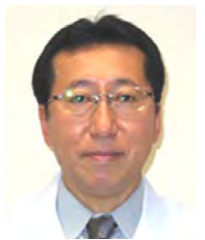


▲花粉の顕微鏡写真

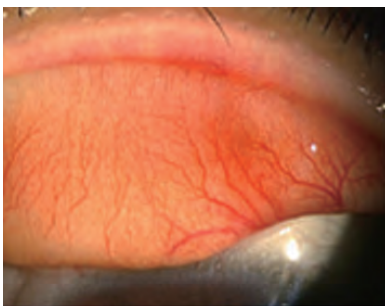
それでも症状が出たときは耳鼻科や内科、眼科を受診しましょう。薬物療法は抗アレルギー薬やステロイド薬によるものがあります。点眼、点鼻、内服薬などありますが、医師からの処方薬と市販薬で

▲花粉の飛散

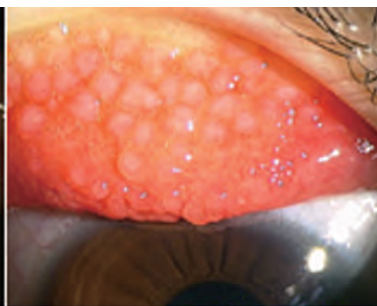
は成分が違うものも多いのでよく相談しましょう。その他、減感作療法やレーザー治療、最近では舌下免疫療法がおこなわれています。空気清浄機やL92乳酸菌配合のサプリメントや免疫を上げる乳酸菌の入ったヨーグルトなどの効果もあるかもしれません。また、抗アレルギー薬の季節前投与が有効とされています。



眼科 主任部長
清水 一弘



正常な結膜



アレルギー性結膜炎

(参考) 厚生労働省 花粉症特集、アレルギーガイドライン、全日本病院協会 みんなの医療ガイド 花粉症について





花粉症シーズン到来～薬剤科より～



技術部 副部長 岩城 晶文

2019年春の花粉飛散が本格的にはじまりました。近畿地方の花粉飛散量は例年比110%でやや多めだそうです。3月上旬にスギ花粉の飛散がはじまり、その後ヒノキ花粉が飛び始め4月上旬にピークを迎えます。

花粉症対策の1番手は抗原である花粉の回避です。花粉情報に注意をし、可能な限り花粉を除去する対策(外出を避ける、入室時に衣類をはらう、防護眼鏡・マスクなどは必需品)が必要となってきます。

花粉の除去対策とともに、症状緩和や発作予防には対処療法として薬物治療が選択されます。薬物治療は重症度や症状

に応じて変わりますが、多くは第2世代抗ヒスタミン薬や鼻噴霧用ステロイド薬が使用されます。最近では第2類医薬品として薬局などで入手できる薬剤も増えてきました。どんな場合でも医師や薬剤師に相談の上、適正使用をお願い致します。

抗ヒスタミン薬は進化し第2世代と言われる薬剤が主流です。改良されてきましたが眠気を催すことがあるとの注意喚起がある薬剤もあります。日常的に自動車を運転される方は薬剤の選択と使用方法にご注意ください。また眠気に順応するため休日前(金曜日の夜)から服用を開始し土日で順応していくのも服用開始のコツかもしれません。

重症度に応じた花粉症に対する治療法の選択

重症度	初期療法	軽症	中等症		重症	
病型			くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする完全型	くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする完全型
治療	①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬	①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬	第2世代抗ヒスタミン薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬	抗LTs薬または抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬 もしくは 第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤 + 鼻噴霧用ステロイド薬	鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬	鼻噴霧用ステロイド薬 + 抗LTs薬または抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬 もしくは 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤
	くしゃみ・鼻漏型には①、②、⑥。鼻閉型または鼻閉を主とする完全型には③、④、⑤、⑥のいずれか1つ。	①～⑥のいずれか1つ。 ①～⑤で治療を開始したときは必要に応じて⑥を追加。				必要に応じて点鼻用血管収縮薬を1～2週間に限って用いる。 症状が特に強い症例では経口ステロイド薬を4～7日間処方する。
			点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬		点眼用抗ヒスタミン薬、遊離抑制薬またはステロイド薬	鼻閉型で鼻腔形態異常を伴う症例では手術
			アレルギー免疫療法 抗原除去・回避			

初期療法は本格的な花粉飛散期の導入のためなので、よほど花粉飛散の少ない年以外は重症度に応じて季節中の治療に早めに切り替える。

遊離抑制薬：ケミカルメディエーター遊離抑制薬。

抗LTs薬：抗ロイコトリエン薬。

抗PGD₂・TXA₂薬：抗プロスタグランジンD₂・トロンボキサンA₂薬。

(鼻アレルギー診療ガイドライン2016)



認定看護師に聞く

母性看護専門看護師 久世 宏美

私は、母性看護専門看護師として当院産婦人科外来で高リスク妊婦への支援をしています。高リスク妊婦とは、合併症を持ちながら妊娠・出産をされる方、精神的な不調をかかえながら妊娠・出産をされる方、妊娠中から赤ちゃんの異常を伝えられた方などをいいます。

少子高齢化が進む中、当院の分娩件数は年間1200件程度と徐々に減少しておりますが、高リスク妊婦は増加の一途をたどっています。特に、糖尿病や高血圧を合併した妊婦さんの増加に伴い、高齢妊娠の方も多く育児支援者が少ない妊婦さんもいらっしゃいます。当院の産婦人科外来で

は、妊娠中に育児支援者について妊婦さんからお話しを伺い、支援者が少ない場合は市のサポートを紹介したり、経済的支援も含めてどのような仕組みがあるのかを医療ソーシャルワーカーと情報共有し、面談をしながら妊婦さんとそのご家族の支援をしております。地域での子育て支援はそれぞれの市町村で取り組まれています。しかし、どこでどのような情報を得られるのか分からないという妊婦さんや、仕事をされていて自ら動くことが難しい妊婦さんやご家族も多いと思いますので、どうぞ病院の妊婦健診時にお気軽にご相談ください。

地域医療
連携

開放型登録医紹介 vol.109

いさか脳神経クリニック

井阪 俊彦 院長



いつでも気軽に来院できる クリニックを目指して

開院の経緯

私は、山口大学医学部を卒業後30年間あまり大阪府内の大学病院、国公立病院を中心に勤務し、開業前の8年間は高槻病院で脳神経疾患の患者さんを診療していました。そしてこの約30年間、診療を行う中で脳神



経疾患の疾病構造に変化を感じました。昔は、事故による頭部外傷、手術を必要とするような脳出血、脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血など救急疾患の患者さんを診る機会が多くありましたが、救急医療の発達や予防医学の進歩によりそのような患者さんは少なくなりました。代わりに、認知症、軽い頭部打撲による硬膜下血腫などの患者さんが増えてきました。そこで、私はより身近でより多くの方の診察を行い、「早期診断」や「予防的治療」により一人でも多くの患者さんの発症を未然に防ぎたい、もっと患者さんに寄り添いたいという思いからこの度開業致しました。

クリニックの特徴

脳神経外科、脊椎脊髄外科、神経内科の分野を中心としていますが、咳、痰、喉の痛み、発熱といった風邪のような症状をはじめ、腹痛、下痢、吐き気などの急性症状の疾患から、生活習慣病、度々起きる貧血や頭痛、便秘といった慢性疾患まで、年齢を問わず幅広く診察しております。頭痛、吐き気、痺れ、物忘れなどの症状で悩まれている方は、是非お気軽に足を運んでいただければと思っています。

当クリニックはJR高槻駅から徒歩2分と利便性が良く、随時検査可能なCT機器も備えています。またレントゲン検査、心電図検査、一般血液検査なども迅速に行える体制を整えています。また、早期診断が可能です。また、仕事や様々な事情で病院の受診機会を制限される患者さんの事も考え、土曜日を含めた夜間診療も行っております。また院内処方にも対応しております。

高槻病院への要望

いつも迅速に対応していただいていたありがとうございます。これからも高槻病院と連携を取っていききたいと思っています。

ますので、よろしく願います。

井阪先生、お忙しい中、貴重なお時間を頂きありがとうございます。先生の話をお伺いする中で、早期に診断することで治療による侵襲も軽減できるという思いが強く伝わってきました。またクリニックの立地や診療時間、院内処方などについても患者さん第一に考えておられ、先生の温かさも感じました。

今後もより良い医療連携に努めてまいりますので、よろしく願います。

地域医療部 中西 黒田 佐伯(垂)



いさか脳神経クリニック

〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1丁目10-3 荘田ビル2階

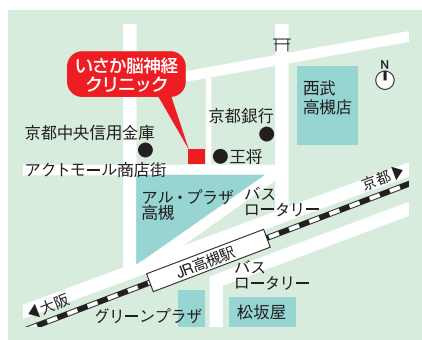
TEL.072-683-8213

【診療内容】脳神経外科・神経内科

【診療時間】○…… 9:00～13:00、△…… 8:30～12:00
●…… 16:30～19:30、□…… 17:30～19:30

	月	火	水	木	金	土
午前	△	○	○	×	△	○
午後	□	●	●	×	×	●

※木曜日、金曜日午後、日曜日、祝日は休診



2019年4月 高槻病院の救急センターが パワーアップします

院長 高岡 秀幸

救急センターの歩み

高槻病院は常に救急医療に力を入れてきました。1999年(平成11年)に救急告示病院となり、2001年(平成13年)の救急車受け入れ数は年間3500台でしたが、約10年後の2010年(平成22年)には年間4500台まで増加しました。これを受けて2013年(平成25年)に救急センターを発足して専任の医師3名と看護師18名を配置しました。当時はまだ手狭で初療室2床、点滴処置室3床という状況でした。このころから老朽化し手狭になった高槻病院の建て替え工事が始まり、3年余り経過した2014年(平成26年)10月に手術室、集中治療室、心臓カテーテル検査室などの高機能部分を含むI期棟ができました。このI期棟の1階部分に救急センターが新装オープンとなり、初療室5床、隔離室1床、点滴処置室6床、レントゲン撮影・CT装置が装備されました。2018年(平成30年)5月にすべての工事が終了しましたが、そのころには年間7000台を超える受け入れ数になりました。そして2018年

11月には大阪府から「小児救命救急センター」の認定を受け、小児は外傷も含めた高度な医療を提供しております。(補足：小児の一般的な医療に関しては、茨木市・高槻市・島本町では平日であれば開業医の先生が、それ以外の時間帯は高槻島本夜間休日応急診療所で診察を受けていただき、入院が必要なお子様は高槻病院へ搬送させていただくという体制が組まれています。)

高槻病院総合救急医療センターの発足

そして2019年4月からは、急性期外科を新設し、成人の高エネルギー外傷(交通事故や多発外傷)や急性腹症などへの対応を強化します。この急性期外科を核として小児救命救急センターのチームと従来からの救急総合診療科のチームが協力して総合救急医療センターが発足し、より救命救急的な活動を展開してゆきます。4月に着任する急性期外科の新スタッフからのメッセージは次号に特集しますのでどうかご期待ください。

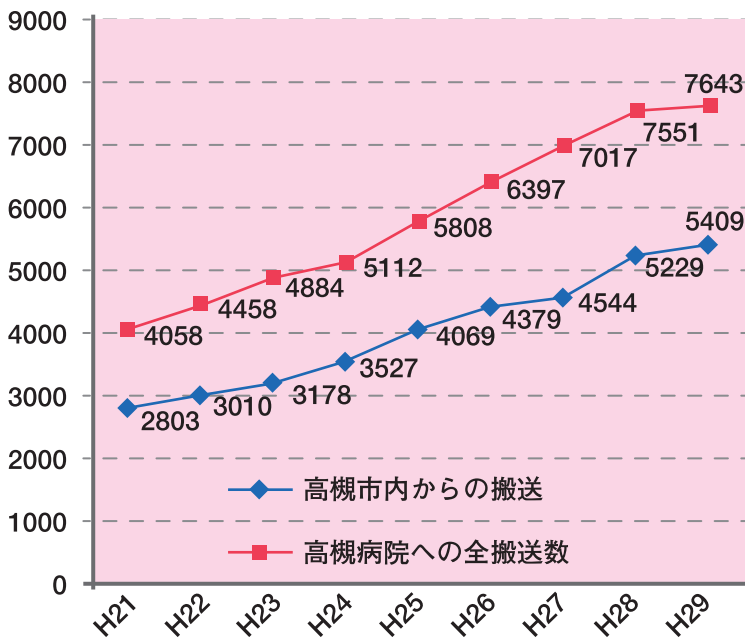


図1 高槻病院への救急車受け入れ数の年次推移

高槻病院総合救急医療センター

総合救急医療センター

小児救命救急センター

急性期外科

救急総合診療科

図2 高槻病院 総合救急医療センター

社会医療法人
愛仁会

高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院	〒569-1116 高槻市白梅町5番7号	☎072-683-1212
しんあい病院	〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号	☎072-681-5533
しんあいクリニック	〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号	☎072-668-5000
愛仁会高槻在宅サービスセンター	〒569-1116 高槻市白梅町5番7号	
訪問看護ステーション愛仁会高槻		☎072-686-1876
ケアプランセンター愛仁会高槻		☎072-686-1882
ケアプランセンターケーアイ		☎072-687-2536
ケアプランセンター愛仁会富田		☎072-692-2941
しんあいケアプランセンター		☎072-680-3000
ヘルパーステーション愛仁会高槻		☎072-686-1875
ヘルパーステーション愛仁会富田		☎072-692-2941
介護老人保健施設ケーアイ	〒569-1051 高槻市大字原112番地	☎072-687-0103
介護老人保健施設しんあい	〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号	☎072-680-3000
愛仁会総合健康センター	〒569-1143 高槻市幸町4番3号	☎072-692-9291
愛仁会看護助産専門学校	〒569-1115 高槻市古曾部町1丁目3番33号	☎072-681-6031